

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.39

発行：2017. 4. 15 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

トンネル上の住民から不安、疑問の声多し —アンケート結果について記者会見を行いました—

アンケートの結果より

橋本地域は、リニアのトンネルが浅いため(13~25m位)、地震・陥没沈下・地下からの騒音振動など、「安心して住めない」、「リニアは迷惑」という声も多くあります。

JR東海は、1月からトンネル上の住民対象に用地補償の説明会を始めましたが、果たして住民の理解が得られるでしょうか？

住民の不安や疑問を置き去りにしたまま、工事ありきで進めることは許されないはずです。



記者室の中でアンケート結果について説明する相模原連絡会のメンバー（右側）



ウラン鉱床のある地域をリニアが通る！

ストップ・リニア！訴訟で岐阜市民が訴える

ストップ・リニア！訴訟 第3回口頭弁論が2月24日、東京地方裁判所大法廷で開かれ、今回も傍聴席は抽選になりました。

今回は、岐阜県東濃地域（ウラン鉱床群の影響を受ける可能性が高い地域）をリニア中央新幹線が通過する問題点を意見陳述しました。

報告集会では、「裁判が行われている一方で、JR東海は各地で次々と様々な工事を行っているが…」との問いかけに、川村原告団長は、「裁判を通じて、計画の違法性を指摘しながら、沿線各地での具体的な対応（地域住民への説明やJR東海への抗議行動など）沿線住民の連携した運動も大切ではないか？」と参加者に呼びかけました。

次回第4回口頭弁論は4月28日(金)14:30~ 東京地方裁判所大法廷 103号

13:15 裁判所前集会 14:00~傍聴券抽選

16:00-18:00 報告集会 衆議院第一議員会館（多目的ホール）

今後の口頭弁論予定 6月23日、9月8日、11月24日、18年1月19日

橋本公民館、津久井中央公民館、城山公民館の公民館 まつりでリニア新幹線の展示を行いました (3月4,5日11,12日)



公民館まつりでリニア新幹線の展示をのぞき見る参加者

相模原市には橋本に駅、小倉に変電所、鳥屋に車両基地が計画されました。それから6年が経過しましたが、JR東海や県、市からのリニア新幹線に関する十分な説明もなく、住民は不安を抱えています。リニア新幹線の展示を見て、問題だらけの計画であることを知ってほしいと思いました。

橋本公民館ではリニアが走ると橋本が発展するからいいと言う方が2.3人いました。津久井中央公民館では「速いのはもういらぬ、ゆっくりがいい」「リニアはいらぬ、新幹線で充分」との声。

城山公民館ではリニアの展示を見て、初めてリニアが通る事を知った男性はどうしてリニアの大事業なのにみんなに知らせないのだろうと不思議がっていました。私たちは、JR東海や相模原市がリニアトンネルの上や立ち退きの方などの一部の方にしか説明を行っていない事などを話しました。

どの会場でもリニアがどこを通るのか、リニアルート地図を見入る方が多くいました。

谷ヶ原 末永順子

リニア新幹線 学習会のお知らせ

とき 5月14日(日) 13:30~16:30

ところ ソレイユさがみ セミナールーム1 (橋本駅北口 イオン6F)

「リニアのトンネル真上に暮らすとは」

～個人の生存権、財産権を考える～

講師 樽井直樹弁護士 (名古屋法律事務所・リニア訴訟弁護団)

(奈良県出身、NTTリストラ裁判、原爆症認定集団訴訟など担当)

第二部 鳥屋／山林トラスト

お話と映像紹介 (トラスト地での間伐、皮むき、板引きなど)

資料代：500円



お願い

★ 活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。
郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者：代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 携帯090-4378-9257